

議事録要旨

会議の名称	第1回勝浦市地方創生総合戦略策定推進会議
開催日時	令和4年7月1日（金） 13時30分から
開催場所	勝浦市役所 5階 第1・第2委員会室
会議の議題	1. 令和3年度地方創生推進交付金事業の活動報告及び事業検証 2. 令和3年度地方創生事業活動報告及び事業検証 4. その他
会議に出席した委員	鈴木 恒夫 乾 康信 鈴木 和夫 岩瀬 義夫 久我 恵子 浅野 光映 紫関 多喜子 渡邊 嘉男 中林 博子 清野 義弘 菊池 巧大 中村 寧々 石井 春人 野村 守 大多和 一彦 中山 大作 吉野 亨
会議の概要	<p>高橋企画課長：定刻により、会議開会を宣言する。</p> <p>議長（渡邊会長）：出席者17名であり、定足数に達していることから会議の成立について宣言。</p> <p>会議冒頭、渡邊会長より川村委員の異動により不在となった副会長について、大多和委員を推薦する提案がなされ、委員に諮るも、異議なしであったため、大多和一彦委員を副会長とすることで決した。</p> <p>議題（1）令和3年度地方創生交付金事業の活動報告及び事業検証について</p> <p>議長（渡邊会長）：初めに事務局から事業内容についての説明を行い、委員より意見等受けること、委員の評価については、異議等がなければ事務局案を委員評価とする旨の説明。</p> <p>議長の説明に対し、委員全員の了承のうえ、令和3年度に実施した地方創生推進交付金事業である「かつうら観光ぷらっとフォーム事業」について、観光商工課より説明が行われた。</p> <p>質疑、委員意見要旨</p> <p>浅野委員：3Pの表についてもう一度説明をお願いしたい。</p> <p>担当課：上段の表はそれぞれの項目の目標値。事業開始前を基準値としてから、2021年度までの5年間で数値を目標上げていくものである。昨年度の交流人口は327,140人なので、その右の欄に書いているKPIの増加分は、事業開始前と比較し792,860人のマイナスというようになる。</p> <p>浅野委員：下段の表の、上の数字は何を表しているのか。</p>

担当課：下の括弧内が各年度の実績の数値。上の数は、前年度と比較しどれだけ増加したかというものである。

久我委員：２ページの外部からの専門人材雇用にあるブルーフラッグについての詳細な説明をお願いしたい。

担当課：ブルーフラッグは海水浴場が安心安全で誰もが利用できるということを、国際的に認証するもの。取得にあたっては、環境教育の活動や水質など３３項目の基準をクリアするとともに、環境マネジメントとして海岸利用に関してのニーズ調査をした上でのゾーニング、安全とサービスの提供、障害者でも利用できる設備を整える必要がある。これは海岸のブランド化に資するもので、他の海水浴場との差別化が図れる。

久我委員：勝浦の海水浴場は幾つかあるが、どこがこの対象となるのか。

担当課：今回の実績としては勝浦中央海水浴場で調査を行ったが、地域と協力して行うものであり、どこで認証取得を目指すかということは決まっていない。

石井委員：ブルーフラッグの認証では、海水浴場の境界から一定距離において船外機などが入れないという安全の規約があると思う。中央海水浴所の沖は漁場であるが、それを認識した上で実施してほしい。漁業者にとっては困ってしまう。

担当課：令和３年度の実績としての報告であり、現状ではどこで取得を目指すかは決まっていない。

石井委員：地元の漁業者としては、細心の注意を払ってもらいたい。もう一つ、SUPは勝浦湾の中でやっていると思うが、漁船の航路上では非常に危険であるから、地元と相談しながらやってもらいたい。

担当課：SUPについてはルール作りをしっかりとし、調整を図っていく。

質疑終結後、議長から各委員に対し、質問内容を確認した上で事務局評価を、委員の評価とすることの確認があり、各委員の異議がない旨確認と了承がされた。

【評価結果Ｃ】

続いて、地方創生拠点整備交付金事業である「（仮称）かつうら海中公園再生計画事業」について、観光商工課より説明が行われた。

質疑、委員意見要旨

石井委員：駐車場は現状と同じか。

担当課：海の博物館の駐車場を利用する。

石井委員：地元では、渋滞の懸念もあるので、対策もお願いする。

鈴木委員：指定管理者はどの規模なのか。どういうかたちで選定したのか。

担当課：施設の概要説明をする際に３社から手が挙がり、指定管理者として公募をした際にはそのうちの１社から応募があった。また、そこから選定委員会を

開催し評価をした上でソルトコンソーシアム株式会社に決定した。正社員が250名パートアルバイトが800名、レストラン運営やプロデュースを行っている。国内のみならず海外でも幅広く事業展開をしている業者である。

鈴木委員：経営に関する資料なども確認しているのか。

担当課：プロポーザルの際に資料としてだしており、選定委員にも開示している。

大多和委員：レストラン、スパエリアそれぞれの営業時間は。また、先ほど駐車場の話が出たが、シャトルバスの運行は考えているのか。

担当課：現時点ではシャトルバスの想定はしていない。営業時間は、レストランが午前10時からオープンし、午後10時ラストオーダー、午後11時まで。スパエリアは午前11時からのオープンし、午後9時半最終入館、午後10時営業終了。

久我委員：勝浦での雇用はどれくらい見込まれるのか。

担当課：できるだけ地元での雇用を考えているが、何人雇用するかまでは情報が無い。

久我委員：せっかくこれだけのものを実施するので、地元の雇用者が増えるよう働きかけてもらいたい。

担当課：一部の求人も出しており、問合せ等もあるが、それでも人手が足りないという話もある。不足する部分を自社スタッフで全国から集めないとオープニングが難しいと言うこともあるようだが、求人は出している状況。

（質疑終結）

議長：本事業については、令和4年度へ繰越を行っているので、今回は途中経過の報告のみとなる。

議題（2）令和2年度地方創生事業活動報告及び事業検証

議長（渡邊会長）：個々の施策ごとに評価・検証を行うべきところと考えている。基本目標ごとに、事務局から一通りの説明を聞いた後、委員から意見をいただいて評価したいと考えている。委員の評価については、異議等がなければ事務局案を委員評価としてとりまとめる。

①基本目標1「安心して働くことのできる場の確保」

質疑、委員意見要旨

大多和委員：実績値の達成率は、毎年この目標値を達成するという想定で策定しているのか。それとも令和7年度までに達成する想定なのか。単純に減少率をかけていくと、おそらく達成できないので、達成率の標記に違和感を感じる。

事務局：達成度については令和7年度までに達成する目標としている。このままであれば達成度は目標値を下回ることが想定される。

大多和委員：施策2の商工業の振興の利子補給は勝浦市預託融資のことか。また、2段目のにある創業向けの融資は政策金融公庫のものか。

事務局：市の制度融資に加え、3年ほど前から日本政策金融公庫の創業支援と設備投資に対する利子補給を行っている。それをこの要素としている。

（質疑終結）

質疑終結後、議長から各委員に対し、質問内容を確認した上で事務局評価を、委員の評価とすることの確認があり、各委員の異議がない旨確認と了承がされた。

②基本目標2「新しい人の流れや関係づくりの構築」

質疑、委員意見要旨

浅野委員：施策1の目標数値を119万7千人と設定しているが、先ほどの観光ぷらっとフォーム事業の資料の中では観光入込客数の目標値を2021年度に151万5千人としている。これは2021年から減少していくという考えで設定しているのか。

事務局：目標値は現実を見据えて、数値を下げている。

浅野委員：施策3でふるさと納税の件数が大きく伸びているが、何か要因があるのか。

事務局：魅力ある返礼品が誕生したこと。ポータルサイトでもランキング上位の返礼品が散見されており、評価されていると考えている。

浅野委員：差し支えなければ、令和3年度の寄付額を教えてください。

事務局：およそ23億6千万円。

渡邊会長：その前の年は。

事務局：9億6千万円くらい。

石井委員：勝浦市の返礼品はどういったものがあるのか。

事務局：返礼品になりうるものは、勝浦市で生産しているか、勝浦市で付加価値を設けているかというもの。一番人気があるものは鮭の切り身。その他ではカツオやタコ、干物。去年の実績ベースでは返礼品の95%が水産加工品である。

渡邊会長：施策2の市内宿泊客数の達成度がCとしているが、これはコロナが影響しており、目標値の見直しまでは必要がないという判断か。また、ふるさと納税の件でいえば、達成度Aとしているが、全く問題ないというものではなく、これが続くかはわからないので、もっと厳しく見ることも必要ではないか。

事務局：1点目の宿泊客数については、コロナ禍の影響もあり変更も視野には入れている。この会議の中で目標値の変更すべきとの意見がまとまるのであれ

ば見直しを図りたいと思う。しかし、今現在ではコロナから立ち直り、元の状態、またそれ以上を目指す考えがあるので目標値はこのままと考えている。ふるさと納税については、昨年の達成度はAとしながら、更に上を目指していく考えている。

渡邊会長：目標達成のための施策があると思うが、その辺りはいかがか。

事務局：昨年度の22万件を市職員だけで扱っていたが、一部業務を外部委託を考えている。これにより、さらに多くの件数に対応できる体制が整えられる。

岩瀬委員：空き家の発生件数は年々増えていると考える。60件の空き家バンクの成約があっても、発生した空き家をいかほど埋められるかという点で疑問がある。私の隣でも、旧家が売りに出ていたが、買手があったことから、空き家バンクはこれからも続けていただきたい。

事務局：空き家が増えているが、空き家バンク登録や売却までなかなかたどり着かない。移住定住施策においては空き家バンクの充実が重要であり、掘り起しを図っていくが、そのための人材の獲得に至っていない。しかし、引き続き空き家バンクの充実に努めていく。

(質疑終結)

質疑終結後、議長から各委員に対し、質問内容を確認した上で事務局評価を、委員の評価とすることの確認があり、各委員の異議がない旨確認と了承がされた。

③基本目標3「子どもを産み育てる環境の充実」

質疑、委員意見要旨

久我委員：学校教育期における支援について、放課後ルーム入所希望者受入率が100%であるが、希望者がオーバーすることがないのか。これ以上希望する方がいた場合はどうするのか。

事務局：希望者がオーバーするような場合は、それに叶うよう対応していく。かつうら放課後ルームを建設していくことで、受け皿としての充実が図れると考えている。

久我委員：完成はいつになるのか。

事務局：令和6年度供用開始を目途としている。

大多和委員：受入率100%であるが、具体的に入所者と定員はどれくらいなのか。かつうら放課後ルームを新設すること自体が過大となっていないか。

事務局：担当課に確認し、改めて報告する。

清野委員：2023年度から外部指導者ということで、それを地域に移行するという提案がスポーツ庁からなされている。国際武道大学としても情報収集して

いるが、やるよというだけで、具体的な情報がなかなかない。市にはそういう情報があるのか。

事務局：2025年までにということで、スポーツ庁からいろいろな考え方が示されているが、今月に県の説明会が行われるので、市の担当者が参加し、状況を把握してくるものと思っている。スポーツ関係のみならず、文化系の部活動は、どうするのかといった問題もある。担当課ともども研究に努める。

（質疑終結）

質疑終結後、議長から各委員に対し、質問内容を確認した上で事務局評価を、委員の評価とすることの確認があり、各委員の異議がない旨確認と了承がされた。

④基本目標4「ひとが行き交い、暮らしやすい地域の実現」

質疑、委員意見要旨

浅野委員：施策2の指標3で住民主導型地域づくり支援事業件数とあるが、これはどういった事業なのか。また、昨年度の申請状況の詳細を知りたい。

事務局：地域住民が自らの提案により実施する事業に対し補助していくもの。補助の期間は最大5年間であり、主にイニシャル部分への補助であり、団体が自走して行くことを手助けするもの。昨年度は、勝浦区・墨名区に承認されている勝浦アクティブパートナーズ1団体の申請であった。この団体は活動4年目であり、おもてなしの心の醸成を目標として、市内へのあじさいの鉢植えの配布や植村記念公園の草刈りによる景観整備を行った。また、南勝浦リゾートプレスという団体はコロナ禍により申請見送りした。

岩瀬委員：公共交通の評価とあるが、道路をよくすると問題が解決させるのではないかと考える。

事務局：担当課とも協議する。

（質疑終結）

質疑終結後、議長から各委員に対し、質問内容を確認した上で事務局評価を、委員の評価とすることの確認があり、各委員の異議がない旨確認と了承がされた。

議題（3）その他

鈴木恒委員：全体を見て、Cの評価が多いが、これは目標の設定が高かったのか。

事務局：令和3年度が第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の初年度となるが、C評価に至った理由としては、新型コロナウイルスの影響によるところが多

い。今後アフターコロナに向け、落ち込んだ経済等の状況を少しでも早く回復させ、元気な勝浦を取り戻していきたい。そういった意味で当初設定した目標を維持しつつ、クリアできるよう続けていきたい。

議長 : 他にはあるか。

事務局 : 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について説明させていただく。勝浦市ではこの交付金を財源として、令和2年度より各種事業を実施してきたが、一部次年度に繰越された令和2年度事業及び令和3年度事業が完了したので、その報告をさせていただく。

(別添資料により、渡邊係長より説明)

議長 : 他にはあるか。

事務局 : 本日の結果を、市ホームページ等で公表を行う。併せて委員の皆さんに報告する。

議長 : 他に何かあるか。ないようであれば、以上で本日の第1回勝浦市地方創生総合戦略策定推進会議を閉会とする。

15時25分 終了